

しもの幸助 県政レポート

2011年11月
秋号
VOL.2



発行：三重県議会議員しもの幸助事務所

〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1 TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

県議会 報告

平成23年第3回定例会 (平成23年9月14日～12月20日) 可決した主要な議案

三重県議会議員(鈴鹿市選出)

しもの こうすけ

下野幸助

■常任委員会：生活文化環境森林常任委員会 委員
予算決算常任委員会 委員

■審議会：都市計画審議会 委員

1 予算関連

①東日本大震災に係わる復興支援・防災対策等 18億9,000万円

内訳

県内の防災対策

(市町が実施する津波避難施設や避難等の整備への追加支援、県立学校の窓ガラスの強化ガラスへの取替えなど)

原子力災害への対応

(県内産肉牛の全頭検査および農林漁業セーフティネット資金に対する利子助成制度の拡充等)

2億3,800万円

東日本への復興支援

(被災者生活再建支援金の支払い等および東北地方への水揚げ寄港を行う本県漁船の支援等)

13億6,700万円

県内産業への支援

(電力需給対策に伴う企業の就業時間等の変更に対応するため放課後児童クラブや保育所の休日保育を実施する市町への支援および県内水産業の支援等)

2億4,200万円

4,300万円

②台風12号にかかる被害等の早期復旧費用 287億700万円

農林漁業の復興支援

(冠水等被害を受けたみかん園地での褐色腐敗病を防ぐための薬剤散布に対する助成等)
3,100万円

その他

3,200万円

内訳

救助活動の実施

(市町が応援救助に要した費用の負担等)
5億2,900万円

被災された方々への生活・住宅再建支援

8億400万円

社会基盤の早期復旧

(道路・河川・砂防施設等の復旧費用など)

273億1,100万円

③平成22年度一般会計決算会計と県債残高

■一般会計決算

- ①歳入……………約7,246億円
- ②歳出……………約7,038億円
- ③繰越確定分……………約147億円
- ④実質収支額……………約61億円

約61億円については、財政調整基金(1/2)・翌年度繰越(1/2)とする。

■県債残高(県の借金:普通会計)

約1兆1,920億円

(前年比約699億円、6.2%増額)
県民一人当たり約64万円程度となっています。

2 条例関連

①みえの観光振興に関する 条例案

県、市町、県民、観光事業者及び観光関係団体が協働して、観光産業を地域に密着した産業として大きく育て、本県の観光の振興に取り組むことにより、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図るものである。

■第62回式年遷宮(平成25年予定 伊勢神宮)、新県立博物館(平成26年予定 津市)など三重県内の観光産業発展に取り組んでまいります。



うま 美し国おこし・三重



▲平成5年の第61回神宮式年遷宮を記念して創設された「神宮美術館」

②三重県スポーツ推進審議会 条例案

スポーツ振興法の全部改正に鑑み、教育委員会の附属機関として三重県スポーツ推進審議会を設置するため、三重県スポーツ振興審議会条例の全部を改正するものである。

■本県では平成30年度全国高等学校総合体育大会(東海ブロック)、平成33年度第76回国民体育大会(招致中)など大規模な大会開催が予定されています。これを契機に、スポーツの「振興」から「推進」へとより積極的な展開を進め、競技力の向上や市町の特色を生かした取り組みを通じて、スポーツによる人づくりや地域づくりによって、地域の活性化を図っていきます。



1-A 防災対策について(ハード面:海岸保全施設)

●質問: 現状の海岸保全施設(堤防)の多くは、1959年(昭和34年)9月26日に上陸した伊勢湾台風の直後に建設されています。伊勢湾台風から、ちょうど52年が経っており、堤防も、50年、半世紀程度たっています。したがって、堤防が、堤防としての役割を果たすのか、大変危惧をしているところでもあります。

■答弁: 現在、海岸堤防について老朽化調査を実施しており、対策が必要な箇所における老朽化の進行度合いや地域性を考慮しながら、対策箇所の優先度を判断して、集中的に対策を進めてまいります。

1-B 防災対策について(ソフト面)

●質問: 子どもたちに対して、今後予測される3連動地震(東海・東南海・南海)について、どのように防災教育を進めていくのか。

■答弁: 連動地震の発生により、大きな津波被害を受ける地域は、(知事)現在の津波浸水予測調査結果(M8.7)において、県内19市町あります。また、年内に完成予定の津波浸水予測調査結果(M9.0:東日本大震災規模)では拡大する可能性があります。これらの地域において、子どもたちの命を守るためには、子どもたち自らが災害時に判断し、行動することが大切です。津波避難訓練等の実践的な訓練をすることが必要です。また、東日本大震災での津波映像を用いた啓発映像などを用いて、より現実的な対応を進めていきます。

2 自然エネルギー推進について

- 県としての再生可能エネルギー(太陽光、風力、バイオマス発電等)の推進
- 県内技術の推進を高めるべく、高度部材イノベーションセンター(AMIC)の支援



3 三重県経営戦略会議について

鈴木知事が新たに設置した「三重県経営戦略会議」について

- 有識者、関係者による積極的な意見聴取と活性化
- 県内経営に係る具体的な課題や問題点の洗い出し
- 指標や目標設置による経営改善の見える化

4 教育・スポーツ環境及び施設の充実について

- 子ども、保護者、先生の心理面、精神面などを支援、また校外の福祉関係機関との連携構築を担う、スクールソーシャルワーカーの拡充
- 平成24年度(新学習指導要領)から中学生の武道必修化(剣道もしくは柔道)に伴う、武道専門の指導者の確保
- 三重県営鈴鹿スポーツガーデンのサッカー競技場の施設拡充(プロ選手対応)

※上記2.~4.は、紙面の都合上、項目名のみとさせていただきます。詳しい内容につきましては、恐れ入りますが、しもの幸助事務所までお問い合わせをお願い致します。

生活文化環境森林常任委員会
県内外調査



9月8日
神奈川県議会

障害者雇用対策、NPO活動支援、協働推進の取り組み対応について現地調査



11月10日
長良川河口堰の現地調査

河口堰の役割及び効果等(水門)について現地調査

県政報告会(毎月)

地元(鈴鹿市)の方と、三重県議会の活動状況を報告。

■9月~10月実施地区/秋永町、御菌町、下大久保町、白子町(野起)、白子駅前など

※鈴鹿市内で県政報告を継続して開催しております。詳しい内容につきましては、恐れ入りますが、しもの幸助事務所までお問い合わせをお願い致します。



しもの幸助
活動報告

10月16日
台風12号及び15号被害状況
現地調査



台風12号及び15号の被害状況
(平成23年11月1日現在)

	台風12号	台風15号
人的被害	死者 2人 行方不明 1人 負傷者 15人	御浜町1人 紀宝町1人 紀宝町浅里地区 重傷5人 軽傷10人
避難状況	熊野市10人 紀宝町34人	(台風12号及び台風15号による避難者です)
住宅被害	全壊 84棟 半壊 1087棟 一部損壊 72棟 床上浸水 703棟 床下浸水 838棟	3棟 26棟 4棟

■台風12号による激甚災害の指定について

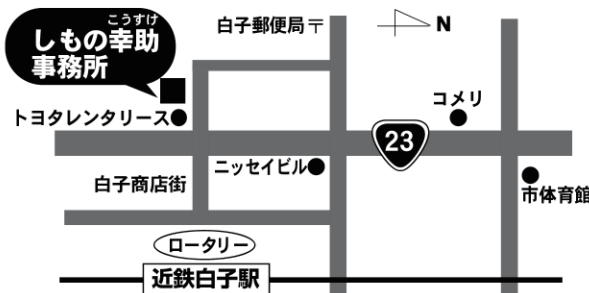
三重県は台風12号の被害により、国(内閣府:中央防災会議)から、三重県全域に「激甚災害指定基準による指定(本激)」、熊野市及び紀宝町に「局地激甚災害指定基準による指定(局激)」を受けました。

三重県議会議員

しもの幸助事務所

〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

しもの幸助ホームページ(ブログ更新中)
www.k-shimono.com



今後の県議会スケジュール

- 11月22日(火) 議案上程(本議会)
- 11月28日(月) 議案質疑(本議会)
- 11月29日(火)~12月5日(月) 一般質問(本議会)
- 12月6日(火) 平成24年度 当初予算要求状況
- 12月8日(火)~12月13日(火) 付託議案審査(各常任委員会・分科会)
- 12月16日(金) 予算決算常任委員会(採決)
- 12月20日(火) 閉会(採決)

皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。